

「人になれ」とは自立することであると考え、自立とは学生生活を通して様々な経験を積み、多くの人と接することで価値観を学び、自身の視野が広がることで、物事の1面だけではなく全体を捉えることができることであると考えました。私たちは今、様々な経験や人との関わりを通して自分たちの視野を広げています。視野を広げることにより自分の強みや弱み、求めていることを受け入れることができるようになり、他者についても同様にとらえることができるようになると考えました。

「奉仕せよ」とはまず「人になれ」が土台にあり、相手がいないと成り立たないものだと考えました。「人になる」ことで自己の理解をした上で、「奉仕」では相手の気持ちに寄り添い、相手の思いやどんなことを考えているのかなどを理解し、受容することが大切だと考えました。そして相手のことを自分のことのように大切にし、思いやり、求めていることをすることが「奉仕する」ことに繋がると考えました。しかし、看護においては相手が求めていることだけでなく、健康の維持や回復、安全のために相手が求めていることであっても実施する事もあるのだと考えました。

最後にこれらの学びから、これまでに身に付けてきた正しい知識・技術を持って実習に行く必要があると考えます。正しい知識・技術があれば患者からの信頼を得ることができ、患者は看護師に対して安心感を持つことが出来ると考えました。患者を尊重するためには、患者が不安なく生活を送れるように支援する必要があります。患者を観察することや患者とコミュニケーションをとることを通して患者を理解し、患者のニーズを把握した上で自分にできることは何か考えて援助を行うことが必要であると考えました。

「人になれ 奉仕せよ」の校訓を意識して、これからの実習に臨みたいと思います。